

長野運動公園新総合体育館の料金設定について

令和8年7月3日 スポーツ部 スポーツ課

大規模体育館に係る料金の考え方（前回審議会の振り返り）

大規模体育館の整備(現況)

● 長寿命化等改修

【ホワイトリング】

- ・サブアリーナ常設体操練習場撤去
→ 常時全面利用可能

【南長野運動公園 体育館】

- ・アリーナ床全面張替、照明LED化等

● 建替え

【長野運動公園 総合体育館】

- ・アリーナ空調設備導入
・体操練習場の新設 等

将来の大規模体育館のあり方

長野市は大規模体育館を複数有し、市民のスポーツ活動からプロスポーツの試合・興行まで幅広い利用実態があることを踏まえ、将来の大規模体育館のあり方としては、それぞれの施設規模・機能に応じた大会・興行への活用を見据えた施設整備と運営を進め、施設の利活用を最大限に高めることを目指す。

大規模体育館の料金設定の考え方

- ・「将来の大規模体育館のあり方」を踏まえた施設整備の進捗に伴い料金設定の検討が必要
- ・施設規模等に対し、施設間の料金バランスを考慮した料金設定の検討が必要

令和9年1月供用開始予定 長野運動公園総合体育館の料金設定が必要

長野運動公園総合体育館の概要（新旧比較）

	現行
建設年度	昭和53年度
構造、延床面積	RC造(補助体育館SRC造) 8,662㎡
メインアリーナ	1,925㎡ ・観客席1,200席(可動席なし) ・フットサル利用:不可
サブアリーナ	866㎡
柔道場	465㎡(208畳)
剣道場	363㎡
多目的室	卓球場 常時9台設置
体操練習場	なし
会議室	3室
冷暖房設備	暖房のみ
主な活用の範囲	主に、アマチュアスポーツで活用

新
令和8(2026)年度予定
鉄骨造 12,112㎡
2,362㎡ ・観客席2,040席(可動席828席含む) ・フットサル利用:可
1,130㎡ 観客席 109席
501㎡(240畳)
287㎡
371㎡ 卓球、 ヨガやダンス等 に利用可能
<u>1,077㎡</u>
3室
冷暖房完備（輻射式空調※）
・主にアマチュアスポーツで活用 ・ボアルース長野のリーグ戦等で活用

※ 輻射式空調:床などから放射される熱(輻射熱)を利用して快適な温度にする空調方式

新総合体育館の料金設定に関する方針

- 1 新総合体育館は、引き続き市民団体等によるアマチュアスポーツ利用が主体となる見込みであることから市民が利用しやすい料金とする。
- 2 新総合体育館の規模や設備が大きく変わり、施設維持・運営コストを現時点で正確に算出することができないため、暫定的に現行の総合体育館の料金や、類似施設を参考として新料金を設定する。
なお、実績に基づき3年後を目安に見直しを行う。
- 3 アリーナの輻射式空調設備は、気候に応じて常時稼働となる予定であることから、特定の期間において空調利用料をアリーナ利用料へ上乗せする。
- 4 地域密着型プロスポーツチームであるボアルース長野の利用が想定されるため、ホワイトリングや長野Uスタジアムと同様に、入場料等の収益に応じて利用料を徴収できる変動制料金を導入する。
- 5 指定管理者の柔軟な運用が可能となる設定とする。

● 参考：行政サービスの利用者負担に関する基準

長野市では、行政サービス利用者に対し、受ける利益に応じた費用負担を求める基準を定めている。

市営体育施設に係る利用者負担割合 = 施設維持・運営コストの50%

※ 現行の総合体育館の状況については8ページ参照

新総合体育館の料金設定の考え方

現行の総合体育館の料金を基とした料金設定

現行の総合体育館の料金や、類似施設を参考として新料金を設定し、市民が利用しやすい料金とする。

【基とする現行の総合体育館の主な利用料金】

主体育館(メインアリーナ) 1,925㎡ 1,200席

● アマチュアスポーツ利用

【市民団体利用】

利用時間: 昼間/2時間

全面専用 **3,750円**

【アマチュア大会利用】

利用時間: 昼間/全日※

全面専用 **15,000円**

● アマチュアスポーツ以外利用

【興行等】

利用時間: 昼間/全日※

全面専用 **180,600円**

※ 8時30分～17時(8.5時間)

【類似施設の主な利用料金】

ANCアリーナ(安曇野市)/メインアリーナ 1,828㎡ 996席

● アマチュアスポーツ利用

【市民団体利用】

利用時間: 昼間/2時間

全面専用 **6,400円**

【アマチュア大会利用】

利用時間: 昼間/8.5時間

全面専用 **27,200円**

● アマチュアスポーツ以外利用

【興行等】

利用時間: 昼間/8.5時間

全面専用 **340,000円**



ANCアリーナ(令和3年竣工)

地域密着型プロスポーツチームの利用を想定した料金設定

【変動制料金】 入場料等の総額の5%の金額。ただし、下限を定める。

- 条例上は上限額を設定(実際の利用料金は、長野市と指定管理者が協議し、決定)

- 1 指定管理者による柔軟な企画や裁量を妨げないこと。
- 2 コストの変動にも対応できる料金体系とする。
- 3 一部スポーツ施設でも取り入れている幅を持たせた料金体系とする。

【幅のある料金体系イメージ】

季節、曜日、時間帯等による
きめ細かな料金設定の工夫

指定管理者による
サービスの工夫

コスト変動への対応

空調利用料の公平な徴収

利用料金

上限額

利用料金を設定できる範囲(幅)

条例に定める金額

大規模体育館等に係る料金見直しのロードマップ

長野運動公園新総合体育館	- 令和9年1月供用開始時から、暫定的に現行の総合体育館の料金を基とした新料金を適用 - 供用開始後、施設維持・運営コストを改めて把握した上で、3年後を目安に料金の見直しを検討
ホワイトリング 南長野運動公園体育館	施設規模等に対し、施設間の料金バランスを考慮した料金設定を検討

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
長野運動公園 総合体育館	料金設定 供用開始	維持管理・運営コストを把握した上で、3年を目安に料金の見直しを検討		
ホワイトリング		施設間の料金バランスを考慮した料金設定を検討		
南長野運動公園 体育館				
社会体育館	料金(案)検討			

参考：現行の長野運動公園総合体育館における利用者負担の状況

- 利用者の負担額(利用料金)の基本的な算定式(行政サービスの利用者負担に関する基準)

サービスのコスト総額(原価) × サービスの類型による利用者負担割合※ = 利用者の負担額(利用料金)

※ 市営体育施設で提供するサービスの公益性等を考慮し、維持管理運営コストの50%で算定

- 現行の総合体育館の状況(R7年度実績)

収入科目	総合体育館
指定管理料	17,300,000円
施設利用料	18,116,455円
自販機収入	1,957,592円
収入合計	37,374,047円

支出科目	総合体育館
人件費	12,131,445円
施設管理費	2,548,062円
光熱水費	3,220,652円
その他	19,360,066円
支出合計	37,260,225円

サービスのコスト総額 37,260,225円 × 体育施設の利用者負担割合 50% = 利用者の負担額の目安 18,630,113円

施設利用料実績 18,116,455円 ÷ 利用者の負担額の目安 18,630,113円

← 現行の総合体育館の利用料金はバランスが取れている